

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

孫が行く口紅つけて大学へ

爺はてくてく老壮大学

●仙台市 菱沼俊行

久しぶりランチのパンをつまむ友

バイオレットのマニキュア光る

●戸田市 高橋近代

孫持たぬ吾をじいじと呼びくれる

稚児と戯れじいじとなりぬ

●印西市 山田 明

除草終え仕事のお礼さわやかに

「またお願いね」うれしい見送り

●狛江市 根方一吉

六月の雨後の夕暮れエノケンの

「私の青空」つとくちずさむ

●東京都神津島村 石田希代子

海をみて夏と冬との色ちがい

人の心もふと色ちがい

●平塚市 鬼武澄江

湧き水のあたりふたつのしじみ蝶

●塩尻市 町田まさ子

生きる価値生きざま孫へ語りたる

爺の背中のかかひとつを

●平塚市 田中博由

雨上がり緑あざやか川の辺の

小鳥のさえずる仕草に見入り

●諏訪市 太田章穂

峰の里辛夷咲きたりごぼう種

二筋まきて腰伸したる

●福知山市 峠尾 充

山歩き喉を潤す水求め

両手で掬う雪解けの水

●綾部市 岩瀧憲一

アクセルを吹かす出来事ローに成り

この現実を透かして見たい

●南あわじ市 小川千富

夏野菜早く植えてよと畑呼ぶ

足腰痛みで気ばかり焦る

●香芝市 高田尚昭

水張りし靱蒔く老夫背は丸く

●左世保市 吉岡幸子

俳 句

足が覚め手が覚める子の梅雨晴間

●小山市 原田利江

境内の枝垂桜や深空あり

●本庄市 入 利雄

蛤やさざ波の中砂の中

●草加市 長谷部禎子

春暖や右手の爪は切り忘れ

●戸田市 稲田隆博

気になりし霾る空に雀群れ

●武蔵村山市 原野晴光

川面は波にまかせて花筏

●塩尻市 大家協治

花盛り荒神山の野展風呂

●塩尻市 小野正平

桜草宙を仰ぎて咲き誇る

●塩尻市 清澤美恵子

物価高分ダイエットかさね医者通い

●塩尻市 宮川 久